

かわさき SDGs 大賞2026 の募集を開始します！

川崎市では、SDGsの推進に向けた具体的な取組の普及及び推進を図るため、令和8年6月1日（月）から「かわさきSDGsパートナー」及び「かわさきSDGsゴールドパートナー」の優れた取組を表彰する「かわさきSDGs大賞2026」の募集を開始します。本企画は今年で5回目の開催となります。

1 公募対象

- ・「かわさきSDGsパートナー」及び「かわさきSDGsゴールドパートナー」が実施するSDGsのゴール達成に資する優れた取組。

2 表彰

- (1) 経営部門 最優秀賞（1者）
- (2) 経営部門 優秀賞（1～2者）
- (3) 地域・社会部門 最優秀賞（1者）
- (4) 地域・社会部門 優秀賞（1～2者）



かわさきSDGs大賞2025表彰式

3 スケジュール

- (1) 募集期間
令和8年6月1日（月）～7月15日（水）
- (2) 1次（書面）選考 8月下旬結果通知
- (3) 2次（最終）選考 9月11日（金）プレゼンテーション（非公開）
9月末～10月初旬頃 結果通知
- (4) 表彰式（公開）
10月21日（水）午後

4 応募方法（詳細はそれぞれ以下のURL又は二次元コードから御確認ください。）

- (1) オンラインフォームによる申請
<https://logoform.jp/form/FUQz/920814>
- (2) 電子メールによる申請
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000187002.html>



5 主催

川崎市SDGsプラットフォーム（事務局：川崎市、川崎信用金庫）

川崎市SDGs登録・認証制度

「かわさきSDGsパートナー」とは…

SDGsの達成に向けて取り組む企業・団体を川崎市が登録・認証する制度。令和8年4月30日時点で3561者が登録・認証されています。詳細は「かわさきSDGsポータルサイト」を御参照ください。

【問合せ先】

川崎市総務企画局共創推進室 野村
電話 044-200-1325（内線 23404）

かわさき SDGs 大賞2026



今年で5回目となる「かわさきSDGs大賞」では、
かわさきSDGsパートナーの優れた取組を募集します!

2026年度 募集スケジュール

- 募集期間 2026年 6月1日 (月) ~ 7月15日 (水)
- 1次選考 (書面) 2026年 8月下旬に結果通知
- 2次選考 (プレゼンテーション) 2026年 9月11日 (金)
- 表彰式 2026年10月21日 (水) 【公開】

※ 応募には、「かわさきSDGsパートナー」又は「かわさきSDGsパートナー」の申請者であること (申請中の方を含む) 等の要件があります。「かわさきSDGsパートナー」の申請方法等は、裏面をご覧ください。

応募部門

- 経営部門※1 **最優秀賞** (1者)
優秀賞 (1~2者)
- 地域・社会部門※2 **最優秀賞** (1者)
優秀賞 (1~2者)

※1 経営部門は、「新規性、独創性」や「継続性、持続発展性」を重視します。

※2 地域・社会部門は、「事業連携、協働参加」や「他社や市内への波及」を重視します。

※ 申請数・申請内容等によっては、希望と異なる賞を授与する場合があります。

応募方法や過去の受賞事例
など詳細はこちら



主催・
問合せ先

川崎市SDGsプラットフォーム (川崎市、川崎信用金庫)
川崎市総務企画局共創推進室
電話: 044-200-0374
メール: 17kyoso@city.kawasaki.jp

SDGsの取組を
共に創り進める
共創推進室に
パワーアップ
しました

あなたの取組が広く届くチャンス！

※ 記載の内容は過年度の実績紹介であり、年度によって異なります。

受賞者には、賞状（最優秀賞、優秀賞）及び盾（最優秀賞のみ）が贈られるとともに、PRリーフレットの作成・掲載、市HPへの掲載のほか、かわさきFM、市主催イベントにおける事例発表など、受賞者のSDGs取組を発信する機会が提供されます！



PRリーフレット
作成・掲載



イベントでの
パネル展示



SDGs推進の優れた取組として、
受賞者限定ロゴマークを使用
できます！



かわさきFM
での情報発信



**社会課題の
解決に挑む
SDGsの取組を
川崎から発信！**

昨年度の受賞者の取組（一部）

■ 特定非営利活動法人 姿勢教育の孝心会



理想の公園、理想のイベントの絵

こどもまちびらき大作戦

子どもと学生の発想を起点に、主体的にSDGsや地域課題へ挑戦しています。多くの協力団体とつながり、感謝の連鎖で解決を目指す実践型の学生ボランティアチームです。取組を継続して進めており、誰でもいつでも気軽に参加できます。

■ ハヤシ・アンド・カンパニー株式会社



Before

After

新聞印刷会社による文具&雑貨ブランドの構築 新聞を「読むもの」から「包むもの」へ

世界最大級の新聞印刷会社が抱える課題（新聞余剰紙の利活用）解決に向けて、読みものである「新聞」に加わる新機軸商品開発「包むもの」デザイン新聞包装紙を企画考案。各ご家庭での新聞紙二次利用も含め、使用し続けてもらいたいと考え生まれた新聞包装紙は、日々大量の余剰資源活用を実現しました。

SDGs大賞への応募は、SDGsパートナーであることが必須条件となります。
パートナーになるための申請方法、制度案内、メリットはこちら



(参考) 昨年度の受賞者一覧



「かわさきSDGs大賞」とは？

SDGsの取組普及と推進を目的にSDGs達成に資する優れた取組を表彰する制度です。

受賞の種類について

【地域・社会部門賞】

・地域社会において、SDGs達成に寄与する優れた取組に対して与える賞、協働連携や地域への波及効果を重視して審査

【経営部門賞】

・企業等の経営において、SDGs達成に寄与する優れた取組に対して与える賞、新規独創性や持続発展性を重視して審査



過去の受賞事例などかわさきSDGs大賞の詳細はこちらを御参照ください

地域・社会 部門



特定非営利活動法人
姿勢教育の孝心会

こどもまちびらき大作戦



中高大学生が主体となり、行政や企業、商店街、地域団体と連携し、イベントや活動の企画・運営まで地域全体を巻き込みながら「子ども主導のまちづくり」を実践

経営 部門



ハヤシ・アンド・カンパニー
株式会社

世界最大級の新聞印刷会社
(東日印刷株式会社)が手掛ける
「新聞包装紙」の企画開発



取引先の端材や廃材を活用した商品化を事業として展開する中で、東日印刷株式会社（毎日新聞グループホールディングス）と連携し、新聞印刷の過程で発生する余剰紙や残紙を活用



社会福祉法人檸檬会
レイモンド川崎保育園

**住み続けられるまちをつくる保育園
～異文化と共に育つ子どもたち～**



園児の約4割が外国につながる子どもであることを背景に、多言語の絵本や様々な肌の色の人形、アルファベット表の設置、UDフォントを活用した情報掲示の整備などを通じて、「違いがあたりまえ」と感じられる保育環境づくりを推進



株式会社ジモティー

**2年4か月で9.1万点、400トンの
不要品リユースする官民連携事業、
ジモティースポット**



ごみの地域循環を促す啓発活動や直接的なごみ減量事業に加え、フードドライブの情報発信、経済的に困難な世帯への学用品の譲渡など、地域課題に応じたSDGs活動も実施



株式会社ロビーム

**川崎発！小さな石窯が創る
“大きなつながり”
～福祉・教育・地域をつなぐ実践モデル～**



七輪の構造を応用した、少ない燃料で高温調理が可能な軽量本格ピザ窯「石窯mini」を開発。安全性が高く福祉施設、商店街、高校の文化祭など、さまざまな場面で活用されていて、地域連携や、持続可能な社会への理解を深める機会を提供



日本ダスト株式会社

**『NDKコンテナシステム』による
CO₂排出量削減を可能にする
リサイクルルート処理**



自社処理と協力会社による処理を組み合わせることで、ほぼすべての廃棄物に対応可能な体制を構築しており、柔軟なリサイクル処理の提案を通じて同業他社とも連携し、環境保全に貢献